



干潟星雲一名は体を表わすか？

Lagoon nebula - correctly translated?

佐藤明達 (元 大阪市立科学館)

長崎県の諫早、名古屋の藤前、千葉県の三番瀬など、干潟に関する関心が近年非常に高まってきた。干潟と聞くと直ちに連想するのがいて座の散光星雲、干潟星雲である。それについての説明を諸書から拾ってみよう。

A) その [M20の] 南一度半には、肉眼にもチラと見える『珊瑚礁形の星霧』があります。(山本一清著「星座の話」 p.138 偕成社 1942)

B) M8 は、ちょっと見は彗星のやうですが、星雲と星団が重なり合ひ中に卵形の暗黒部があるので、鹹澤星雲の名があります。(野尻抱影著「新星座めぐり 夏の巻 p.60 研究社 1947)

C) これが干潟星雲とかラグーン星雲とよばれるのは、全体がサンゴ礁のような形をしているところからきているものです。(藤井旭著「星座ガイドブック 春夏編」 p.237 誠文堂新光社 1974)

D) これは写真に写してみるとわかることですが、大きな暗黒物質の流れが中央を横ぎっている形が、いかにも環礁に取りかまれている南海の孤島のように見えるのでこの名があるわけです。潟というのは、海の一部が砂洲のため外海から切りはなされてできた浅い海のこと、干潟というのはこれが水の引いた状態をいうわけです。(藤井旭著「星雲・星団ガイドブック」 誠文堂新光社 p.246 1971)

E) M8 (NGC6523) が干潟星雲とよばれるのは、NGC6530という散開星団を混えているために、ちょうど干潟のような印象をあたえるためである。(中野繁著「新編 星雲星団の観測」 p.182 恒星社 1978)



M8「干潟星雲」

(画像提供：国立天文台天文情報センター広報普及室)

F) いて座の有名な散光星雲で、NGC6530 という散開星団と重なり“潟海星雲”の名がある。(中野繁著「全天恒星図2000」 p.33 誠文堂新光社 1984)

G) いて座にある干潟の形をした散光星雲。……真中に一条の黒いすじが横切っている。Lagoon nebula (「グランド現代百科事典」改訂新版 第24巻 p.274 学習研究社 1983；初版 第16巻 p.466 1973 と同文)

H) この星雲の中央部にも星間塵による吸収によって暗い帯がはしっているのが見られる。この部分が島によって取り残された潟のように見えるので、干潟星雲と呼ばれている。(「世界大百科事典」第23巻 p.366 平凡社 1988；「平凡社版 天文の事典」 p.571 平凡社 1987 と同文)

I) 星雲中の星間塵が星雲の光の一部を吸収して星雲を殆ど分割し、かくしてラグーンに似た形を生じた。“The New Encyclopaedia Britannica” Micropaedia Vol.7, p.101, 15th ed.1989)

J) 最も目立つ模様は、この星雲のほぼ中央を横切って、真二つに分断する幅の広い曲がった暗黒のすじである。……この中央の暗い部分の印象から“干潟星雲”という名が生まれたのである。ジョン・C. ダンカンによれば、この名はアグネス・H. クラークが、その著“星の世界(The System Of the stars)”の初版(1890)の中ではじめて使ったらしい。しかしながら中央の暗い模様は、干潟というより、すじに似ているので、この名は適切だとは思えない。(R. バーナム Jr. 著、斉田博訳「星百科大事典」p.139 地人書館 1988)

ではいったい、lagoon とか干潟とかはどんなものなのであろうか。

K) ラグーン lagoon

沿岸の浅海の一部が、砂州、沿岸州、砂嘴さしなどにより外海と切り離され、浅い湖沼となった

もので、潟、潟湖かた せきこ (かたこ)とも呼ぶ。海水は1～数ヶ所より湖に流出入し、湖水は汽水となる。(「世界大百科事典」第29巻 p.341 平凡社 1988)

L) 干潟(ひがた) tidal flat

満潮時には海面下に沈み、干潮時には海面上に現われる低平な粘土や泥から成る土地。(「ブリタニカ国際大百科事典」小項目事典 第5巻 p.382 ティビーエス・ブリタニカ 1993)

このように、ラグーンは干潟とは違うのである。英名を忠実に訳せば「潟湖星雲」となるが、「干潟星雲」という名称は(いつから使われるようになったか分からないが)すっかり定着しているから、今更改める訳にもいくまい。しかし「形が干潟に似ているから干潟星雲という」などと言ってはいけない。干潟が常識化した現在、失笑を買うだけである。

(Jan. 20, 1999)

【参考文献】

佐藤明達、1983、散光星雲の通称について「天界」No.696 p.129 (May 1983)